

衆議院憲法調査会 3月22日

東京大学 姜 尚 中 (KANG Sanjung)

「二十一世紀の日本のあるべき姿——北東アジア「共同の家」をめざして」

一. 二十世紀の北東アジアはどんな時代だったか

1. パックス・ブリタニカ／パックス・アメリカーナ／パックス・ニッポニカ
2. 植民地・半植民地と内戦／ナショナリズムと「開発」
3. 「隣人」なき日本と日米安保

二. グローカリズム・リージョナリズム・ナショナリズム

1. グローバル・マーケットと国家＝管制高地（総力戦体制とケインズ主義国家）の終焉
2. ローカリズムとネットワーク
3. 危機の連鎖とセーフティネット
4. 通貨共同体構想とリージョナリズム
5. 隆起するナショナリズムと「歴史摩擦」

三. 北東アジア「共同の家」に向けて

1. 経済システム

- ① 生産・技術 — 技術移転と国際分業の再編
- ② 通貨の安定と域内基軸通貨
- ③ 円の国際化と「輸入大国」への転換
- ④ 金融リスクとセーフネットの構築
- ⑤ 労働力の国際移動と共同管理システム
- ⑥ 通信・情報・運輸システム

2. 外交・安全保障システム

- ① 日米安保と多極的安全保障
- ② カギとなる南北朝鮮の平和的共存
- ③ ツー(北朝鮮・韓国)・プラス・ツー(米国・中国)・プラス・ツー(日本・ロシア)

- ④ 体制存続の国際保障と軍縮・軍備管理
- ⑤ 朝鮮半島の「永世中立化」と四大国の国際保障
- ⑥ 日朝国交正常化と日本の役割
- ⑦ 半島の「ソフト化」と四大国の信頼醸成

### 3. 社会・文化

- ① 「歴史教育」の共有と教育者・学生の相互交流システムの構築
- ② 大学間単位の互換性と留学生受け入れ
- ③ 衛星放送と二重言語プログラム（日韓が実験的に開始）
- ④ アジア・カップなど、スポーツ・イベントの共有
- ⑤ アジア映画祭、アジア音楽祭などポピュラー・カルチャーの共有

## 四. 日本の課題

- 1. 米中覇権競争に対して日本はどんなスタンスをとるのか
- 2. 日米安保＝バイラテラルな安全保障システムと多極的な安全保障システムの整合性をどう構想するのか
- 3. 南北朝鮮の共存・統一に日本はどんなポリシーをもてるのか
- 4. 円の国際化を推進できる国内改革を断行できるのか
- 5. 「輸入大国」にふさわしい構造改革を実行できるか
- 6. 国籍要件の緩和と多民族・多文化共生社会を実現できるか